

ることを訴えてきた。

この長い間、いろいろと尽力をしてくださった、赤間峰子さんに、感謝したい。

一年ほど前、NHKラジオで、私の障害児差別に関する放送を聞かれた赤間さんが、「現在の幼稚園、保育園においても、障害児問題は、大切な教育の問題です」と、丁寧な原稿依頼をうけた。それ以後は、私の方から無理にお願いして、書かせていただいた。

そのたびに、心あたたまるハガキを、何度も赤間さんからいただき、うれしく、また、励まされる思いであった。

発行者の津守真先生（一度もお会いしたことはありませんが）にも、心から感謝し、お礼を申し上げます。

いつの日か、障害児が、胸をはって歩ける日本社会が生れ、個の連帯が充満することを、念じつつ、これからも、手に豆をつくり、額に汗し、教育の土方になって、歩み続けたい、こんなことを、心に秘めている私である。

（止揚学園）



幼児の教育 第七十四巻 第七号

七月号 ◎ 定価二〇〇円

昭和五十年六月二十五日印刷
昭和五十年七月 一 日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

110 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所
所フレーベル館にお願いいたします